

新聞の記事の中から自分が興味関心のあることを抜き出し、まとめることから、社会全般に興味を持って追求していく児童の育成を願って

長野県松本市立菅野小学校 長崎 修

1. はじめに

松本市立菅野小学校は全校児童623名、各学年3～4クラスの中規模校です。「しっかり学びかっこいい子・くじけずがんばりぬく子・美しいやさしい心の子・じょうぶでたくましい子」という学校目標に向け、日々、実践をしています。

本年度はNIEの実践校として認定を受け、6年生を中心に総合的な学習の中で新聞の役割や新聞を使った学習をしてきました。

子供たちの興味関心の中心となる記事を選定したり、新聞の社会に対する役割などを考えさせることから社会的事象に関心を持ち、少しでも、社会に目が向けられればと思い実践をしてきました。

2. 実践の概要

- (1) 新聞閲覧コーナーを設置する。
- (2) 新聞記事から自分の興味関心のあるものを取り上げ、ノートに整理する。
- (3) 整理した記事の中から他の人に紹介する。

3. 実践の内容

- (1) 新聞閲覧コーナーを設置する。

閲覧コーナーは誰でもがいつでも見ることができるような場所に設置するのがよいと考えました。その場所が学校の中であれば一番いいのだが、なかなか、そのような場所を確保することができません。特にNIEの新聞は7紙（信濃毎日・朝日・読売・日本経済・産経・長野日報・中日）を採用したので、その場所も大きなものになりました。

また、菅野小学校では7紙を2部ずつ、2ヶ月にわたって購読しましたが、そのすべてを閲覧できるように工夫しました。興味がわいたときに過去の新聞記事についても追跡調査ができるようにしたためです。

幸いにも菅野小学校には高学年プレイルームという場所があり、誰でも、休み時間などに出入り自由の場所で、しかも、児童が集まりやすい場所があったので、そこに閲覧場所を設置しました。

新聞は毎朝、児童が当番を組んで、このプレイルームに展示します。3クラスあるので、1クラスが1ヶ月に1回は当番に当たりました。広告などは事前に新聞店さんをお願いして抜いておきました。

休み時間などにも興味のある児童はその閲覧場所で、自由に新聞にふれることができました。そのために、次の段階になります。自分の興味関心のある記事を取り上げるにも、比較的すんなり入ることができました。

新聞コーナー設置期間は新聞店さんをお願いしてあった配達期間が10月11月であったので、10月から3ヶ月間としました。

そして、2部配達されてきた新聞の1部をまとめようとして活用しました。

その一部をさらに1週間単位で各クラスに振り分け、その振り分けられた新聞記事から各児童が、自分の好きな記事を抜き出してスクラップしていくのです。

(2) 自分の興味関心のあるものを取り上げ、ノートにスクラップする(資料1・A～D)

次の段階として、閲覧場所で自分が興味のあるものや関心のあるものを探し出し、その記事を切り取り、ノートにスクラップしていきます。

我がクラスではテーマは自由としました。

自分の興味関心のある記事について自由にノートにスクラップしていきます。

スポーツ欄を中心に一日の中で、他紙にわたってまとめたものや、同じ記事を1週間追ってまとめたもの。また、新聞を取っている時期に中越地震が発生したので、その記事を何日にもわたって、まとめてその地震の経過を追っていったものなど、子供達が自由にまとめていきました。

ノートのスクラップをさせてわかったことは子供達が楽しそうにスクラップしていくということです。

我がクラスでは5年生の時に、パソコンをつかって新聞づくりを行いました。そのときも、テーマは自由としてまとめました。その記事の内容は、主に、趣味的な内容がほとんどでした。歌のランキングや映画などの紹介記事。それに、修学旅行に行くための見学場所の紹介など、本当に自分の興味に従ったものでした。

一方、新聞記事を切り抜いてのスクラップ作業での記事の内容は、やはりスポーツなどの趣味的なものから、新聞社のコラム、社会的な事象への記事など、多岐にわたり、5年生までのような自分の本当の趣味的な内容のものから、少しずつ変わってきたように思います。

特に事件を長期間にわたって追っていくという子供もいて、インターネットで、新聞を作っていたときよりも内容に深まりが出てきたように思います。

そして、ある程度長期にわたって記事を追う子供は、事件の変わっていく様子を追うことにより、時間的な幅を持たせることができました。

その具体的な活動を以下に示します。

資料1・A～Dに示すノートのスクラップは、ある児童が期間中に調べていったものです。

最初は事件一般について調べたが、そのうちに、自分と同年齢の子供が関わった事件を取り上げるように変化していった例です。

他にも、最初のうちはあまり興味を示さなかった子供も、いくつか事件を調べることによって、少しずつ自分が調べたいと思う事件や記事が変化していきました。

特に、社会的な内容を調べていった児童にこの傾向は見られました。

(3) 整理した内容をまとめ、発信する(資料2・A～D)

次の段階として自分のスクラップした内容をまとめ、発表しました。4人の児童が取り上げました。それぞれが興味を持った記事について一枚の用紙にまとめることができました。

ただ、時間的な経過をまとめることが難しく、どうしても一番印象に残ったものを中心にまとめるものが多かったです。今後はまとめ方にもう少し工夫が必要と思います。

4. 実践の成果と課題

- (1) 新聞記事の中で番組欄しか活用しなかった児童が、社会現象などにも目を向け、社会全体の内容にまで、深く興味や、関心を寄せるようになりました。
- (2) スクラップをすることにより、さらに詳しく調べようという意欲を持った取り組みがなされるようになりました。
- (3) 今まででは読めなかった漢字なども辞書を使いながら、少しずつ読み進める中から読めるようになりました。
- (4) 個人差が多く、深く追求できる児童とそうでない児童の差が出てしまった。これは、進める中で、少しずつ解消できそうです。
- (5) 多くの情報の中から、選択することは非常に困難で、最初、自分がどんな記事を選ぼうかと迷ってしまう児童もあり、そこに時間をとられてしまい、個人差を生む原因がありました。いかに早く自分の記事を選ぶかにより、その後の取り組みに大きな差が出るという結果にもつながりました。
- (6) 時間の関係で、短期間に集中した活動であったため、長いスタンスでの取り組みができませんでした。できれば、一年間という期間の中で、どのように記事が変化していったかを見ることができるようになるといいと思います。

【資料 2】

A

新聞記事を読んで
5年 組 名 前

取り上げた内容
新聞 月 日

新聞記事

体重13の16歳少女餓死
16歳少女、食料不足で餓死

記事の内容の紹介
この新聞記事は、1997年11月10日の朝日新聞に掲載されたものである。内容は、中国の農村部で発生した大規模な飢饉に関するものである。記事によると、この地域では長年続いた干ばつにより、農作物の収穫量が大幅に減少し、多くの住民が食料不足に陥っていた。特に、16歳の少女が体重が13kgにまで減り、最終的に餓死したという事例が紹介されている。記事は、この悲劇の背景として、政府の食料政策や農村部の経済状況についても触れている。

感想
この記事を読んで、中国の農村部の現状が非常に深刻だと感じた。食料不足は、人々の生命を脅かすだけでなく、社会全体の安定にも大きな影響を与える。政府は、農村部の経済を支援し、食料の供給を確保する必要がある。また、国際社会も、このような悲劇を防ぐために協力する必要がある。

これから調べたいこと
中国の農村部の現状、食料政策、農村部の経済状況について詳しく調べたい。

B

新聞記事を読んで
5年 組 名 前

取り上げた内容
新聞 月 日

新聞記事

11月の中国の原油消費量は前年同月比で増加

記事の内容の紹介
11月の中国の原油消費量は、前年同月比で増加した。これは、中国の経済成長に伴って、工業生産が拡大していることが主な原因と見られる。また、冬場の到来により、暖房用のエネルギー需要も増加している。この傾向が続けば、中国の原油消費量は今後も増加すると予想される。

感想
中国の原油消費量の増加は、世界のエネルギー市場に大きな影響を与える可能性がある。中国は、原油の輸入に依存しているため、国際原油市場の動向に敏感である。また、中国は、環境問題への関心が高まっているため、再生可能エネルギーへの投資も進んでいる。今後の中国のエネルギー政策の動向に注目したい。

これから調べたいこと
中国の原油消費量の増加の背景、再生可能エネルギーの現状について調べたい。

C

新聞記事を読んで
4年 組 名 前

取り上げた内容
新聞 月 日

新聞記事

患者も病院任せ卒業を

記事の内容の紹介
この新聞記事は、2000年11月10日の朝日新聞に掲載されたものである。内容は、日本の医療制度に関するものである。記事によると、日本の医療制度は、患者が病院に任せ、治療を受けるという特徴がある。これは、日本の医療制度の強みであるが、一方で、患者の自己決定権が十分に保障されていないという課題も指摘されている。記事は、医療制度の改革の必要性についても触れている。

感想
日本の医療制度は、患者の健康を守るために重要な役割を果たしている。しかし、患者の自己決定権を尊重し、医療の質を向上させる必要がある。医療制度の改革は、患者の利益を最優先に考えるべきである。

これから調べたいこと
日本の医療制度の現状、医療制度の改革について調べたい。

D

新聞記事を読んで
4年 組 名 前

取り上げた内容
新聞 月 日

新聞記事

台風の脅威 甘く見た？

記事の内容の紹介
この新聞記事は、2000年11月10日の朝日新聞に掲載されたものである。内容は、台風に関するものである。記事によると、台風は、日本に大きな被害をもたらす可能性がある。しかし、多くの人が台風の脅威を甘く見ており、十分な対策を講じていない。記事は、台風の脅威を正しく認識し、適切な対策を講じる必要があることを訴えている。

感想
台風は、自然の脅威であり、我々の生命と財産を守るために十分な対策を講じる必要がある。台風の脅威を甘く見てはいけません。政府や自治体は、台風の被害を軽減するために、適切な対策を講じるべきです。

これから調べたいこと
台風の脅威、台風の対策について調べたい。